

平成 23 年度宮城県支部総会のご報告

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分当県を含む東北地方を中心に大規模な地震と大津波が発生しました。電気をはじめ、水道、ガス、そして燃料が直後から供給が停止しました。当支部会員の中にも家屋の浸水等の大被害にありました。同窓会本部をはじめ全国の多くの同窓の諸兄から物心両面の多大なご援助をいただきました。紙面をお借りしてあつくお礼申し上げます。

こうした状況下で、通常どおり総会や懇親会を開催すべきか悩みましたが、こういうときだからこそ、「麻布大学これにあり」の気概を持っていつもどおり開催しようとの佐藤支部長のご英断により開催する運びとなりました。

23 年度総会は、同窓会本部から猪股智夫先生のご臨席を賜り、被災地に近い東北新幹線くりこま高原駅隣接のホテルエポカにて平成 23 年 11 月 26 日に開催しました。出席者は、例年より若干少なめであったものの、新入会員 2 名を含み久々参加の先生方もあり、和気藹々会いの中で進行することができました。ご来賓の猪股先生からは、母校の周辺の今昔の様子や最近の獣医学事情懇切丁寧にご紹介頂きながら、ご挨拶をいただきました。総会に先立ち、前支部長の武田先生をはじめ 1 年間に物故された先輩方に対しご冥福を祈り黙祷いたしました。総会は、提出議案のすべてをご承認いただきました。

また、今回の特別講演は、登米市佐沼で開業の時代屋動物病院佐藤砂登史先生(昭和 54 年卒 応援団・ラグビー部所属)による「3. 11 大震災」の現状について、お話いただきました。先生は、病院経営の傍らボランティアで避難所設営及び管理を行われました。スライドを使ってのリアルな震災の被害の様子は、改めてこのたびの震災のすさまじさを出席者一同固唾をのんで実感しました。

また、懇親会は、席を替えて盛大に行いました。いつもどおり寮歌の斉唱や楽しい歓談を行いました。今回都合がつかず出席できなかったみなさまには、是非次回には、万障繰り合わせて参加いただければ幸いです。



(文責 幹事 佐藤俊郎 昭51卒)

